

1 参加の条件

以下の各項に1つでも該当する**選手及び引率者、役員**は大会への**参加を慎重に検討して下さい。**

- ① 当日の受付での検温で37.5度以上の体温が検出された場合。
- ② 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」に記入された体温が37.5度以上の場合。
- ③ 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」の全てのチェック欄にチェックがつかなかった場合。

また、以下の各項に1つでも該当する**学校**は大会に参加することができません。

- ① 大会当日の受付前に、引率責任者の先生が大会参加者（補助役員の生徒を含む）から「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」（ホームページよりダウンロードする）を回収できない場合。
- ② 大会当日の受付に、引率責任者の先生が「参加同意書等の確認書」（ホームページよりダウンロードする）を提出できない場合。
- ③ 引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出され、試合開始時刻までに代替の引率責任者を立てることができなかった場合。
- ④ 剣道部内で感染者、濃厚接触者が出て※、所定の報告書による報告を剣道専門部が受けた結果、当専門部が出場不可を決定した場合。

※注 剣道部内で感染者、濃厚接触者が出た場合には報告書をホームページよりダウンロードし、以下までご一報ください。

tasukete@toksys.org

※注 大会2週間前から大会前日までに感染報告書を提出した学校が大会に参加する場合は、学校長が参加を許可する旨の文書（A4紙1枚、書式自由）を大会当日の受付に提出してください。

なお大会直前または大会当日に発熱者が出た場合は、大会当日に状況をお知らせください。この場合状況により大会参加を見合わせていただく場合がありますのでご了解ください。

2 登録選手が健康チェックシートのチェック欄をすべて満たすことができずに、出場できなくなった場合の、特例的な選手補充と復帰の措置について

- ① **選手が出場できない場合の、選手補充による交代について（従来の方式に同じ）**

大会当日までに病気や怪我等のやむを得ぬ事情により選手の補充を申請する場合にならない、ホームページの大会申込画面上の「選手交代許可願のダウンロード」ボタンより許可願書式を印刷し、大会当日に競技委員長に提出し、許可を得る。

なお公印の発行が間に合わない場合は、公印なしの許可願を仮に提出し、公印を押印した正規の許可願を後日提出し直す。

② 選手の復帰措置について（コロナ禍における特例的な措置）

他の選手との交代を受けた団体戦の選手、または個人戦の選手は、大会の決勝戦が終了するまで選手として再度試合に出場することはできないのが通例であるところ、**コロナ禍での特例的な措置として、当該選手が所属する学校の学校長が文書（様式は問わない）により、選手の参加を許可する旨を大会会長が確認できた場合**に限り、申込時オーダーへの再復帰を認める。

注1 学校長の認可が書面で確認できない場合は適用されない。

注2 主催者が参加を適当でないと判断した場合は適用されない。

注3 個人戦についてはこの復帰措置は適用しない。

3 大会当日の健康チェックについて

次の2段階の方法によるチェック体制を設けます。

ア. 大会当日の朝に、引率責任者の先生は大会参加者（補助役員の生徒を含む）から「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を回収する。

（ホームページより「● 東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書等の確認書（EXCEL）」をダウンロードする）

また引率責任者の先生も同じ同意書を記入・保管する。

イ. 大会当日の朝に、引率責任者の先生は「参加同意書等の確認書」を大会本部に提出することにより、大会参加者の健康チェックを行ったものとする。

（ホームページより「● 東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書等の確認書（EXCEL）」をダウンロードする）

ウ. 引率責任者の先生は上記の「ア」で回収した「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を1ヶ月間、各校で保管する。

エ. 大会本部は上記の「イ」で回収した「参加同意書等の確認書」を1ヶ月間、当専門部事務局で保管する。

オ. 上記の「イ」の「参加同意書等の確認書」の提出がない学校は、大会への参加ができませんので、ご注意ください。

カ. 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」及び「参加同意書等の確認書」は剣道専門部ホームページのトップメニューよりダウンロードして入手していただきます。「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」に関して引率責任者の先生は参加者の数だけコピーをしてお使いください。

キ. 引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出された場合の措置については、以下の「3. 引率責任者の当日の体調不良による緊急事態の対応について」をご覧ください。

ク. 大会役員の先生は、「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を記入の上、大会本部に提出する。

4 引率責任者の当日の体調不良による緊急事態の対応について

引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出された場合、大会会場にお入りいただくことができません。この場合、該当校は引率責任者が不在となり、大会に参加することができません。

このような緊急事態に備え、参加校各位におかれましては、事前に緊急事態が発生することを想定し、以下の優先順位に沿って代理の引率責任者候補1名を決め、予め代理候補の方に依頼をしていただきますよう、お願いいたします。

(優先順位1) 剣道部の顧問として加盟登録時に登録がある、他の教諭や非常勤の先生または剣道部の外部指導員

(優先順位2) 剣道大会の引率者としてふさわしい、剣道部顧問でない、校長、副校長、教頭を含む教諭、非常勤、講師の先生

(優先順位3) 剣道大会の引率者としてふさわしい、剣道部員の保護者

上記の緊急事態が発生した場合は、大会当日の受付時に報告をお願いいたします。なお引率責任者の交代は上で述べた緊急事態発生時の特別措置であり、特段の理由がないにもかかわらず上記の優先順位2、3の方に代理引率を任せていることが発覚した場合、当該校は失格となり、出場資格を失いますのでご注意ください。

5 大会会場への入場に関して

- ① 当専門部ガイドラインにしたがい、当面のあいだ、大会会場に入ることができるのは大会役員及び選手、引率者・監督のみとし、すべての試合を無観客、無応援にて行います。引率者・監督は大会会場に入場することが出来ますが、試合場に入ることが出来るのは監督章を左胸に着用した先生1名のみとなります。
- ② 引率者は原則1名としますが、学校の事情により複数での引率を必要とする場合は大会当日の受付にて口頭により理由を申告してください。
- ③ 集合時間は学校により異なります。組合せ表や事前の案内等で指定された集合時間に従ってください。

6 大会受付時に提出いただくものについて

- ① 大会参加申込書（個人の部を含む） 最大で4枚、公印必要
- ② 団体戦オーダー表と、個人戦名票 最大で10枚
- ③ 新たに個人登録をする学校は、個人登録申込書 および 個人登録申込用紙 2枚、公印必要
- ④ 参加同意書等の確認書 各開催日ごとに1枚
- ⑤ 竹刀検量確認書 各開催日ごとに1枚

各校で竹刀検量を行う際には以下の基準を参考にして下さい。

(ガイドブックP16に同様の基準の掲載がありますが、過去のものが入っています)

掲載されています。お詫びし訂正いたします。)

竹刀の基準（一刀の場合）					
	対象	中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下	
重さ	男性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上	
	女性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上	
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

竹刀各部の名称

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

- ⑥ **選手交代許可願** 各開催日ごとに1枚
 (一部の選手が出場できなくなり、選手の交代を補充により行う場合に使用する)
 注 選手を補欠要員により補充することで、補欠を追加補充する際にも提出する。
- ⑦ **選手の復帰を認める学校長の同意書** 復帰の日に1枚
 (上記⑥を使用した学校が選手を復帰させる場合に限る。A4紙1枚、書式自由)
 注 交代時に補欠要員を追加した場合、復帰措置が行われた際にはこの補欠要員は出場資格を失う。

なお、選手、補助役員生徒の皆さんは以下の1点を引率責任者の顧問の先生に提出して下さい。また**引率顧問の先生も同じ書面を記入し1ヶ月間保管して下さい。**

- ⑧ **参加同意書 兼 チェックシート**

7 大会会場使用上の注意

- ① 指定の時間より前に大会会場に入ることはいけません。
(※ 集合時間を確認してください)
- ② 会場に持ち込むことができる飲食物は飲料水のみです。
- ③ 昼食をとる場所は会場内にはありません。
(除く 午前と午後に試合がまたがる場合)
- ④ 感染拡大のリスクを極力少なくする観点から、当面のあいだ、大会における試合前の、剣道具を着装してのウォーミングアップを禁止します。
- ⑤ 更衣場所を待機場所として利用することはできません。
- ⑥ 試合に敗退した場合は、その後の他校の試合を観戦することも、大会会場に居残ることもできません。
- ⑦ 開会式、閉会式は行いません。表彰は個別に行います。
- ⑧ その他、剣道専門部ガイドライン（ホームページに掲載）の記載事項をよく読み、内容を遵守してください。

8 試合審判法、および着用品の暫定的な変更について

- ① 以下の指針に沿った試合運営となります。参加する選手、引率する先生は事前に必ずご視聴ください。

→ 剣道専門部ホームページ 4月12日お知らせ

「【重要なお知らせ】「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」」

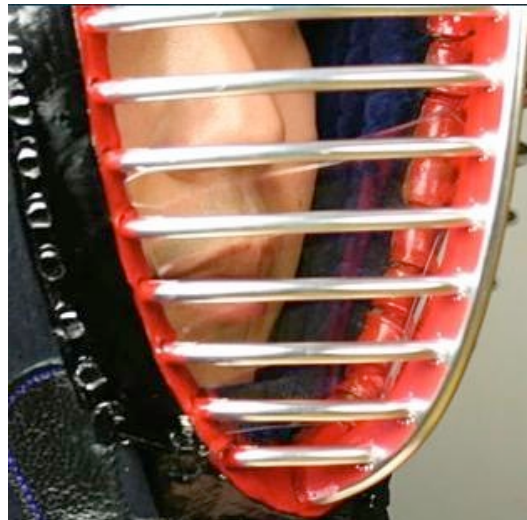
<https://to-koutairen-kendo.org/archives/3762.html>

- ② 通常の剣道具に加え、全日本剣道連盟から示された新たな見解に従い、当面の間、以下の二点を必須の着用品とします。

ア 口と鼻の両方を覆う面マスク（鼻を出すことは不可）



イ 口元をおおうシールド



上記二点の着装が確認されない場合は、選手は試合に参加することができません。